

第66号

平成25(2013)年12月15日

広島市中区国泰寺町1丁目2番49号
〒730-0042 広島国泰寺高等学校内

鯉城同窓会

電話(082)241-9777 FAX(082)248-7341

E-mail rijjo@orion.ocn.ne.jp

URL http://www.rijo.gr.jp

鯉城

300人を超す鯉城の友が集まった「二木会」500回記念祝賀会



「三三同窓会」「二木会」が500回

半世紀の歴史 多彩なゲスト

毎月第2木曜日に開催されている「三三同窓会」「二木会」が9月の開催で500回を迎えた。9月12日に広島市中区のメルパルク広島で開催された「二木会」500回記念祝賀会には約300人の鯉城の友が集い、長い伝統を積み重ねてきた鯉城同窓会にまた新たな歴史を刻んだ。

祝賀会では祝辞や祝歌に続き、永年、二木会開催に貢献のあった人や精勤者表彰もあり、宴は和やかなうちにも懐旧談で大いに盛り上がる。

二木会は昭和36年3月9日に第1回が開かれスタートした。同年4月の2回目からはOBをゲストにテールスピーチを聞く形態になった。1回目のゲストは、大正10年卒の参議院議員松本賢一氏の「欧米視察婦朝談」だった。大半のゲストがOBだが、恩師や外部からの招へいでカーブ前監督や落語家、室内合奏団による新春コンサートなど実に多彩な企画と顔ぶれが揃う。

ゲストとして登壇したOBも、2〜3回はざらで、

大正6年卒の医師島薫氏、平和運動家でもあった昭和4年卒の医師原田東岷氏は常連組だ。最多登壇は、中国新聞の名物カーブ記者だった昭和12年卒の津田一男氏の5回だろう。話題も一貫して強くなるカーブと軌を一にしている。恩師では金子彪校長、広隆群先生、川北春江先生らも名を連ねる。資料「500回のおゆみ」を見ていて感心するのは、スピーチのタイトルが、右肩上がりの昭和の復興期を実によく反映していることだ。会費もスタートから10年間は400円。現在4000円だから、今昔の感がある。500回は通過点であり、既に10月に501回目が開催される新しい歴史を刻んでいる。

乾杯は田村前会長



500回を祝うスライド



「鯉城の夕」300人の大合唱



金子氏をリーダーに応援団の演舞



鯉城ステアコールも花を添えた



昭和36(1961)年3月
から始まった「二木会」が平
成25年9月12日に開催された
「二木会」(メルパルク広島に
て)で第500回を迎えまし
た。今年度の鯉城同窓会にお
いて一大イベントである第
500回二木会は、記念祝賀
二木会と題して開催いたしま
した。

当日は全国の同窓生、河田
校長先生をはじめとした国泰
寺高校関係者の皆様を含め、
通常の「二木会」の約3倍の
300人を超える御出席を頂

500回の積み重ね 同窓生の誇り

き、盛況に開催する事が出来
ました。
冒頭、これまでの二木会に
おける功労を頂いた方々や精
勤者の方々に対し感謝の気持

上げて頂きました。そして、
最後には応援団創設者である
金子俊介先輩(昭和41年卒)
をリーダーとして応援団の演
舞、鯉城の夕への合唱で閉会

礼申し上げます。
鯉城同窓会の長い伝統の
積み重ねにより二木会が第
500回を迎える事ができた
ことは、私たち同窓生の誇り

に引き継いでいかなければな
らないと強く感じるものであ
ります。総会、二木会を合わ
せると550回にはなる同窓
生の集い。ギネスブックものだ
と申請はしてみたものの残念
ながら、登録は叶わなかった。

ちを込め表彰をさせて頂き、
また、原田康夫先輩(昭和24
年⑤卒)や国泰寺高校PTA
合唱団鯉城ステアコールの皆
様から祝歌により会場を盛り

を迎えました。
このように第500回記念
祝賀二木会は多くの方々のお
力をお借りし、盛況に開催で

であり、これまでの伝統を築
き、受け継いでこられた先輩
方に感謝申し上げたいと思っ
ます。また、先輩方から受け

継いだ伝統をしっかりと後輩
に引き継いでいかなければな
らないと強く感じるものであ
ります。総会、二木会を合わ
せると550回にはなる同窓
生の集い。ギネスブックものだ
と申請はしてみたものの残念
ながら、登録は叶わなかった。

きたこと、当番幹事として御

力をお借りし、盛況に開催で

ます。また、先輩方から受け

継いだ伝統をしっかりと後輩

代表幹事
窪川原 康登

人との交わりが大切

昭和28年卒 中澤潔さん



スポーツ報道の人生を語る中澤さん

10、11月の両月、OB講演会が母校体育館で相次いで開かれた。10月15日は、アメリカで生化学者として活躍する佐藤繁美さん（昭和30年卒）が「日本の若い世代へのお願い」というテーマで、11月12日は相撲ジャーナリストとして知られる中澤潔さん（昭和28年卒）が「スポーツ報道にかかわる人生の中で学んだこと」という演題で、それぞれ熱いメッセージを贈り、若い後輩たちが真剣に耳を傾けた。

の教えを守ったことから人生が開けていった」と振り返った。そのうえで、一中の歴史を継ぐ国泰寺高校のOBであることに誇りを感じる、と強調。「人生の成長過程で人との交わりがいかに大切であるか」

と指摘し、スマホや携帯、あるいはゲームに熱中して、殻に閉じこもりがちで最近の若者の風潮に「これで人間としての心が生まれるだろうか」と疑問を投げかけた。

大学卒業後、新聞記者になつてからは、最初は単純な交通事故と思われる事案について、よく取材してみようと思いがけない真相が判明したというエピソードも披露。「物事を表面的に見てはだめだ」と

いう教訓を得て、これが後に生きた」と語った。その教訓は、八百長問題で揺れた相撲界の取材、論評で、遺憾なく発揮された。今回の講演でも「八百長は詐欺です。しかも国技に名を借りた詐欺」と厳しく批判。「伝統を守るためにも、みなさんそれぞれの人生において、これだけは人に負けないという実力、武器を身につけてください」と締めくくった。

佐藤さんは時折、マイクを手にしたまま、フロアに座り込んでいる生徒たちの中に入っていく、フランクな調子で質問したり、渡米したころの状況を尋ねられると「1ドル360円の時代、わずか200ドルしか手元になく不

「OB講演会」

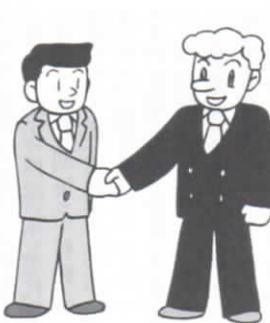
失敗気にせず挑戦を

昭和30年卒 佐藤繁美さん



温かく激励する佐藤さん

卒業後、報知新聞社に入社。後に毎日新聞社に移り、運動部で水泳、相撲などを担当した。現在は相撲ジャーナリストとして、新聞、テレビを中心に、精力的に執筆活動を展開している。



来年80歳を迎える中澤さんは、広島市の宇品の海で水泳を覚えた思い出から語り始めた。高校に入り、2年のときの担任から「水泳はできて、それだけではだめだ」と言われ、他のスポーツや勉強にも励んだこと、損得抜きで面倒を見てくれるいい先輩に恵まれたことなどを挙げ、「それら

壇上にながらず、生徒たちと同じフロアに立って話し始めた佐藤さんは、最初に「みなさんは、なぜ英語を勉強す

るのですか」と問い掛け、自分の歩みを振り返りながら、「グローバル社会で生き残るためには、世界的なものの考え

方が不可欠なんです」と指摘。そのためにはまず英語を使う能力を身につける必要があると強調した。そのための具体的な方法として「広い分野への興味」「新鮮な感受性」「恥をかくことを恐れない心」「さまざまなことについての自分なりの意見」を持つことが大切とアドバイ

安だった」などと回答。終始、なごやかな雰囲気だった。佐藤さんは高校を卒業後、立教大学に入学し生化学を学んだ。同大を卒業して渡米。デトロイトのウエイン州立大学院やボストンのタフツ大学などで研究生活を送り、民間会社でも働くなど、多彩な経歴の持ち主。コレステロールの代謝、免疫学、バイオ関連を中心に、幅広い分野で大きな実績を残している。

目標上回る194万円で

金館会窓同 付寄窓同

浄財1070件、最高額は100万円

鯉城同窓会館建設に伴う寄付金募集は順調に進み、平成25年11月末現在で、約1070件、1940万円にのぼっている。集まった寄付金は会館建設費、什器備品費に充てられる。

同窓会員の長年の夢だった同窓会館の建設。ここ数年で機運が急速に高まり、幹事会での承認などの手続きを経て、ようやく建設の運びとなった。国泰寺高校の北東敷地内に昨年7月に起工、今年3月に落成した。

建てて、1階には玄関ホールや大会議室、倉庫など、2階には同窓会事務室、展示スペースであるメモリアルルーム、会議室などを備えている。総工費は約7800万円。建設費は、会員の浄財によって蓄積された同窓会基金

約1億円の中から充当したが、基金をすべて使うわけにはいかず、さらに今後の円滑な運営を考えて、4万人を超える同窓生に1口10000円の寄付を呼びかけていた。この結果、最高額100万円をはじめ、多くの寄付金が寄せられるに、目標額の1100万円をはるかにオーバー。同窓会や母校に対するOB各位の熱い思いを裏付ける形となった。なお税控除対象の寄付金は平成26年1月31日まで受け付けている。

(S25生卒) 國重(酒井)久恵
戸田(日浦)照枝/矢野(池田)美耶古
(S25定卒) 三浦明
(S26卒) 芥川清行/網干哲郎/石川(前原)澄子/石田琢三/教誓(西本)圭子/重内(下田)賀代子/穴戸和子/志波国介/西上豊/林正幸/日山隆司/満田(柳原)忠子/宮地誠/山下良吉/吉田貞子
(S26定卒) 府木良一/藤田和彦/松田四郎/恵村勇夫
(S27卒) 相原坦/石原舜三/上西彬允/加計邦夫/加藤潔子/佐々木義隆/大地晃/高村恭介/坪島泰造/寺西(宮本)美代子/中岡(坂瀬)明子/中村和夫/秦美美子/山本(川本)文子/山本(高山)照子
(S27生卒) 沖川(藤田)八重子/三田村(田原)義子
(S27定卒) 大内義美/出田博昭/新谷昭治
(S28卒) 大谷弘/大脇(平崎)哲子/加賀美潔/片山登/國米規正/佐々木春彦/白川(中西)千勢子/高橋(塩瀬)昌子/田村公男/中澤潔/野田文彦/花岡哲/原山弘/藤原(岩田)節子/宮本(友田)耀子/森下清/山城健一/脇谷(石津)佳之
(S28定卒) 有地鎮雄/加太(山村)和子/二井内義城
(S29卒) 伊藤莊三/岩田守雄/占部正/岡田樹宜/岡本良三/荻原啓志/小倉敬一/岡貞玲吉/吉川(大塚)秀雄/窪田(本多)由利子/白石知男/杉原(正岡)

同窓会館建設寄付金一覽

— ありがとーございました。 — 平成25年11月30日現在

- (S7卒) 山崎芳樹
- (S9卒) 東正
- (S10卒) 荒木(香川)見悟/繩田陸郎/遺族
- (S11卒) 神田吉行/遺族/齋藤正
- (S13卒) 片桐隆三/藤原俊彦/遺族/安田實/遺族
- (S14卒) 望月茂男
- (S15卒) 上迫尚春/元吉務
- (S16卒) 石内茂夫/松井正/水津重雄/向井富郎
- (S17卒) 上田敏雄/崎藪義之/藤得利博/遺族/三山一郎
- (S18卒) 天野孝三/大橋秀夫/末田守/高田正則/遺族/津田四方栄/徳永洋一/平山吉雄/水田泰次
- (S19卒) 奥田久徳/尾茂呈/北川寛治/小跡武久/坂下昇/隅

- (S20卒) 岩田公男/岡野正樹/金澤昭治/河田博夫/日下部陽三/伊達辰之進/常本一三/天農健敏/楡山幸生/藤井澄/星埜惇/村中盛安/森河正昭/遺族/横手中/吾野金郎
- (S21卒) 飯田鐵馬/金田圭壮/神尾年人/川上清/中田龍爾/水野博之/向井啓一
- (S21三卒) 児玉昭三/竹下善保
- (S22卒) 大谷樹子/昭/金丸昭治/木本敏雅/下久保省三/立石健二/津田昌宏/刀禰道正/中村(橋本)光昭/橋崎孝貴/新田壽郎/野村圭一/福馬直昭/三浦群平/三隅俊明/若山清水
- (S23卒) 井上義國/上村聖壽/佐藤明/澤田二郎/末重(松井)文男/砂子賢介/砂元良香/世良邦治/武田信和/田頭清秀/谷本英雄/長岡進吾/浜田平太郎/山口正直/宮川秋三/三宅優/山口高明
- (S24卒) 赤木幹徳/大原孝/小田薫三/香川了治/梶川良一/楠田哲夫/坂田正二/島本次雄/曾田啓莊/田曾忠衛/天道俊孝/中村明夫/新見治野間和彦/橋本通暁/浜田史郎/林憲弘/広島一中有終会/福岡駿吉/福山順正/星野繁基/増田(大方)忠臣/間宮徹致/門前豊

- (S24卒) 野間(野間)隆寿
- (S24三卒) 内田繁雄/奥見郎/高橋幸雄/谷本寛/土井公男/山田安秋
- (S24三卒) 山口淨/兒玉光雄/西尾好文/山本新一/渡辺輝房
- (S24三定卒) 新谷實巳/西田壽丸/山(川添)享三
- (S24併卒) 石堂功卓/伊藤俊彦/岡田芳之/加藤明史/亀井郁夫/黒田良雄/迫田秀之/鈴木茂秀/諏訪了我/高部(宮本)正興/日地康武/南(浦島)維三/山本和雄
- (S25卒) 伊田行雄/今田耕二/柄(澤原)玲子/大野木菅田/康子/坂本利彦/佐々木清和/清水治三/隅出昂伸/田村鋭治/難波俊裕/平岡昭/堀(龍田)智賀子/水戸(多山)榮子/三田村英雄/山口大作/若山欣一

- 美智子/竹林守/館(齊藤)耀子
 筒井郁也/中尾(大石)泰司
 藤川(笠岡)美智子/古本桂藏
 松尾聰/眞鍋毅/三宅榮之進
 村上(齊藤)みどり/八木豊
 (S29生卒)岡川(手島)昌子
 小池(島本)禮子/河内哈爾美
 野村(本田)敬子/森保(増田)美智子
 (S29定卒)池本義男/砂田久登/吉川忠道
 (S30卒)織田智晴/石川靖彦/市原(岩佐)みゆき/大嶋(吉村)健作/岡田達郎/梶原(森)明子/川岡稔和/久賀俊正/熊野(田中)一成/故柴田修三
 田坂茂/多々良(鉦)義成/鶴崎百哉/永野孝夫/中野(和泉)舜子/花木千尋/福島裕/藤本修示/本多保仁/遺族/持本義明/森平倫生/山下(藤川)美紗子/山本敬一
 (S30生卒)井上(小田)悦子/中嶋(深田)美恵子
 (S30定卒)鍵本嘉雄/昭和30年卒定時制一同/中土井(伊勢田)健次/中村(孝之)渡部辰雄
 (S31卒)赤木(中尾)弘子/荒木博雄/飯田明毅・野々山(瀬川)朋子/福居(神田)史江/坂勝司/上野(吉村)和子/大東弘吉/岡田(大田)美智枝/鏡田隆/鏡田(岩見)玲子/吉川慶一郎/貞末清/杉本(橋本)昭子/関口善孝/田浦芳徳/立高誠三/長田和雄/藤本哲/増田(藤)聿子/松井千秋/向井靖爾/森脇惣野/弘子/山城政之/山本(赤松)信一/湯木貞義/吉田誠
 六信司
 (S31生卒)西川(関谷)浩子
 (S31定卒)石田華山/上杉(谷岡)美佐子/國光俊宏/新宅文雄/埤田正幸/新田(土居)敬士
 (S32卒)青木四郎/伊藤彰雄/井上(大森)浩子/岡崎山根/小松博/杉浦和之/須山省三/田村恒雄/土井一彦/野内(辻)美寿枝/橋本吉春/平林義孝/福馬靖生/藤岡吉廣/前田忠昭/升川定義/松田(辻)登子/村上浩昭/渡辺(岩田)哲司
 (S32生卒)平田(中野)桂子
 (S32定卒)菊村義範/辻信吾/松本利典
 (S33卒)伊藤浩一/上野(岩崎)征子/梅原(佐々木)信子/江川(和田)佳子/大石浩/大谷正行/大谷美奈子/岡本博禎/奥窪忠/奥田(藤川)典子/甲斐(吉本)斐夫/勝岡渥子/門重政司/皮籠石照親/木下弘/木原(金川)孝子/木村清/小山(三宅)弘子/斎藤峰夫/白濁(秦)加子/新宅隆/高武男/高田(山根)嘉子/高橋洋貴/高松正紘/立川亮司/田中誠之/田辺(下村)操子/田丸博敬/築本(池田)多喜子/津田紘史/土屋義弘/鶴岡孝昭/寺本慎一/東儀(金山)敬子/徳間(高橋)英子/中川(中本)重子/中川(松本)恵子/中迫勝之/永田定幸/中西義之/中村義喜/西村裕之/西本勝汎/西山(畠山)恰子/新田脩二/宮肇/野田昭/濱中勝壮/平田(中村)文子/平野司/深町王一/藤山知紘/星野哲司
 堀田佳克/正木寛治/道上孝典/三戸隆男/三宅吉浦/紀久子/八木忠士/山縣秀雄/山崎雅邦/山田恵美子/山中博之/米澤(角本)千穂子/渡部(中林)慶子
 (S33生卒)石寄(高岡)宏子/岩田(石田)良江/高木(津山)末子/吉田(高山)静子
 (S33定卒)池田五郎/上慶勝人/永楽邦宏/江川(大坪)成子/大町隆彰/小路(吉本)崇子
 (S34卒)石風呂主税/上神慶紀/小野紀夫/加藤明/桑野恭彬/剣持毅/小根森逸夫/佐伯(大山)百合子/坂井隆典/坂本仁武/佐々木(井久田)律子/佐々木(湯浅)祥子/貞末良雄/竹本博光/中田正博/中谷(清水)潔子/新出讓/藤岡(西脇)完昌/藤原晴男/堀尾哲朗/増本(舛本)靖典/丸山祐莊/湊元彦/森川(小副川)ミノリ/山村一壯/横繁隆夫
 (S34定卒)高森(藤田)繁子/立花(下岡)十三恵/中野孝行/遺族/松岡弘治/水除美樹雄
 (S35卒)伊藤暉/確井法明/大野能敬/久保隆/小松政清/高木秀雄/田坂(野崎)峯子/田中達也/田中(中)カ子/といち会有志/徳川(茂村)千代子/長坂正基/長谷正英/中村笠岡/澄子/林(志岐)恭子/原田和徳/藤井浩/藤原勲/丸岡晃嗣/三戸健二/宮原昭夫/宮本政治/保田征四郎
 (S35生卒)坂本(石堂)悦子/寺谷(頼)由喜/原山(岡村)百合子/山根(実本)静子
 (S35通卒)山中孝博
 (S35定卒)有田武志/河村(藤井)昭子/蒲原(石田)敏博/藏山本正紀/杉崎友昭/平田大作/山村輝文/吉村俊信
 (S36卒)有泉(金弘)敏雄/池本俊通/石井(本田)和子/伊藤一彦/上山(秋本)富子/大久保公平/大久保(竹内)幸子/大野(村田)洋子/岡島正行/沖西(三村)隆子/小野山(塩谷)敢三/加治孝子/川本康夫/木村(桑野)瑞枝/久都内定省/栗栖(若宮)雪子/堺原直毅/坂宗(寺田)智恵子/重森誠二/杉村弘孝/宗吉(中井)和子/土井敏正/二矢川敏郎/林(保名)光江/久行(大橋)瑞恵/深町(加藤)幸代/前本忠征/松尾泰昌/山中(砂子田)紀子/山成宣彦
 (S36生卒)片岡(西本)敬子/田中(保田)昭子
 (S36定卒)宇野耕次/佐藤良典/廣津賢明/門前孝則
 (S37卒)朝長万左男/石瓶紘一/今村(寺本)信子/岩崎信江/黒沢(保田)野野(白井)富士郎/黒沢(保田)癸未子/高木康雄/末盛(大沢)癸未子/高木康彦/竹下保彦/遺族/西田悦子/原紺(高橋)通子/三木武彦/安広(植木)美和子/柳瀬(横山)弘子/横田勝(吉田)小倉/慶子/吉水保恵/若月(松本)哲枝/渡邊洋征
 (S37定卒)池田一雄/今村親司/妹岡知治/藏本(熊本)美代子/昭和37年卒定時制同期会
 末永千尋/鈴木(小田)清子/田坂功/平田道
 (S38卒)今城康臣/岩本八智子/片山(真木)明子/桂正/川上啓介/楠瀬(河相)純子/城恒谷(瀬尾)岡本(大生)田尻昌久/谷口博/土井悠子/中川(麦倉)久代/中村寿夫/中村(牧野)千代/西村真一郎/平岩善政/堀尾(下垣)郁子/升野淳夫/松田巍/三宅邦明/明井克彦/山城(保田)和子/吉田司
 (S38生卒)網野(平元)千鶴代/玄道(小谷)洋江/安武(森)元英子
 (S38定卒)葉柴一博
 (S39卒)石井(大下)美代子/戎野(牧野)好子/大谷久大本善則/河相(梅原)和美/佐々木嘉江/品川英晃/田川雅之/田中哲彦/中田(山本)公代/中松修三/長村(林)滋子/林誠/前田稔子/松尾(川田)不止子/室岡敏昭/山本(辻本)訓子/吉本尚規
 (S39通卒)沖秀雄
 (S39定卒)井上正昭/内谷(村田)義美/月村俊雄/日高(石川)由子
 (S40卒)浅見昌子/渡辺(上神)芳子/岡崎(幸田)和香子/温泉正博/小林(洪谷)亮介/田中啓次/中村恰次/西本実男/平尾(武井)文子/弘中達郎/福原和彦/三浦佐久間/加枝/向井(大津)美恵子/藪内(二野)宮/雅美/山下一郎
 (S40生卒)河本(新宅)美和子
 (S40定卒)金田峯百喜/遺族

(S41卒)大井康裕 大島昭彦
 (沖野)植木 清江 越智 佐々
 木 修 河野清隆 黒川(西田)
 久枝 小須田信夫 酒井久明
 清水進 新宅(住田)洋子 高村
 裕子 高山昌広 田丸健三 中
 村和子 野坂(根平)弘子 浜崎
 道男 細川匡 丸橋正記 宮本
 (椎木)幸枝 盛岡(渡部)孝子
 吉野(品川)徳子
 (S41定卒)西本行弘
 (S42卒)青木(橋本)良子 荒
 谷清麿 有馬利昭 飯田悦子
 石田泰紀 石谷正文 稲岡(中
 垣)真弓 植木幹造 宇根川(土
 手)早苗 漆谷眞治 江野口宮
 秋 榎本裕之 大下一成 大嶋
 美登利 岡田(上野)信子 尾崎
 勉 長田(田辺)順子 貝原博
 垣下(加治)道子 笠間宣弘 金
 子(仙波)京子 金田(今井)令
 子 蒲生 青田 文子 河井(木
 下)恭代 河西(指方)和 川端
 (花岡)由美 木下(水野)美恵
 子 木村(石井)久子 京崎雄治
 久保木敬子 久保木文子 熊
 谷道順 黒田(佐藤)佳代子 小
 泉(藤原)幸子 高地(畑)成子
 (後藤)忠啓 後藤文子 小早川
 (馬場)律子 酒井修 坂手道明
 佐川(村田)貴代子 佐々木清
 廣 佐々木茂 佐藤一弘 澤裕
 幸 澤村泰 重森由行 篠崎尊
 清水敏行 新宅謙示 瀬戸中徹
 (高村)洋介 竹島宗雄 田中潤
 田中(小沢)啓子 田中(松田)
 正枝 田中(道元)広子 玉井日
 出夫 弗原(辻)朝子 土岡(石
 井)由紀子 土屋(河野)みづ江

(筒井)昭夫 転石善博 土手博
 行 中井紗千子 中本隆雄 西
 広(山吉)葉子 長谷川和人 畑
 徳宣 原和正 原(新田)栄 脇
 岡健治 尾藤和生 広畑幸雄
 藤田豊久 藤谷三千男 藤戸賢
 治 藤正好 三 星野 藤井 順子
 正木和史 増井憲治 松本(友
 国)愛子 溝上(泉本)直美 三
 木敏雄 向井達郎 向井英俊
 村上(小松)繁樹 森拓三 森川
 (山根)多美子 森脇(花本)恵
 柳井津江 鈴子 敷内(近藤)
 英子 山口(菅原)レイ子 山崎
 英洋 山下(竹本)通子 吉井清
 明 吉岡章 吉村俊男 吉本浩
 幸 吉本(平井)町子 早稲田幸
 雄 和田(中本)登美江 渡辺英
 正

(S42通卒)岡崎龍彦
 (S43卒)大石一朗 大原義博
 岡田幸雄 笠岡透 上野原昇
 川元(中村)正明 黒田隆 迫孝
 治 下村純一 鳥越隆 土手光
 洋 中村憲彰 中村(佐々木)愛
 子 中村(岡本)道代 中本正
 長田豊 二宮幸一 信広修 蓮
 池俊治 細川基 峯松英樹 宮
 武 藤原(明子)山川(佐伯)末
 美 芳野秀聖
 (S43通卒)山本明照
 (S43定卒)入田谷雄次 平田
 誠
 (S44卒)青木 益田 裕子 落
 久保正基 加藤(小早川)廣子
 金谷俊則 北(吾河)晴美 齊藤
 仁 田中(飛子)泰恵 中(沖本)
 純子 平岡英樹 森本(香口)真
 理子 築瀬(橋本)信江 山田邦

明
 (S44通卒)越智信弘
 (S44定卒)松原雄治 矢内(享
 保)まつ子
 (S45卒)石飛健 内木恵子 内
 田秀紀 小清水教夫 惣明和徳
 二 階堂直 林一 藤田康則 村
 井優三 本川忠司
 (S45通卒)矢野義雄
 (S45定卒)天野丈次 山中(中
 野)美子
 (S46卒)池上信也 井崎(大
 坪)礼子 岡本(岡田)とみ子
 川上(十河)義枝 坂本龍一 三
 野(山崎)敦子 田立(大田)美
 恵子 田中(井上)徳子 藤野玲
 子 百々(川野)由美 森信秀樹
 山口修司 横畑裕之 菊尾(木
 戸)眞理子
 (S46定卒)宮岡成一
 (S47卒)石橋(中川)宏子 上
 田昇 沖本(小山)雅子 桂秀
 昭 荒神徹 佐川(金児)陽子
 (境)露子 寺本隆信 戸田武弘
 (中西)秀道 林俊之 平本満江
 増本智 森美喜夫 保田(木村)
 純子 吉田正徳
 (S47通卒)桑原佐智江 藤井
 春之
 (S47定卒)谷本(己造)敏昭
 (S48卒)浦川義則 橋高美智
 子 小林千鶴子 坂本進 大崎
 剛 東儀宣哲 長村俊和 中山
 正剛 藤原(増田)久美子 横田
 隆二 昌子均 吉田康志 若本
 和夫
 (S48通卒)小田亀好 米村睦

美
 (S48定卒)池森信英 土井純
 子 若三広子
 (S49卒)石井(中元)祐子 石
 原孝 柄(宍戸)邦子 河下(立
 花)富子 川地(河野)和子 児
 玉(河村)園子 貞政和男 世良
 田(原)治彦 坪田実 畠岡(松
 尾)純子 松尾正恵 宮木(岩
 本)慎二 三宅康弘 渡部公磨
 (S50卒)大原康典 奥野(平
 西)佳代子 國貞(白田)智子
 坂本伸幸 新(佐々木)純子 出
 口明美 橋本興 濱川(中原)邦
 子 平沖(岡田)純子 藤井(石
 川)直子
 (S51卒)沖崎(今田)菜穂子
 菅野眞吾 大源(木村)真美 中
 野常夫 羽田(楡垣)月江
 (S52卒)近藤(森矢)真弓
 佐々木雅広 田端道彦 平岡政
 隆 藤藁昭 八木彰 吉信(林
 ひとみ
 (S52通卒)川岡元美
 (S52定卒)池内千津子
 (S53卒)沖川悦三 小谷展也
 木下(澤村)京子 鳥崎一郎 鈴
 木秀昭 保手濱 高橋 順子 土
 井圭太 中野伸治 林田正彦
 松前泉 三谷(井藤)雅子 横田
 (渡部)欣子
 (S54卒)筏眞理 今浦伸治 越
 智孝広 越智(宮本)美佐枝 新
 庄浩子 堂面政俊 中山(尾越)
 恵子 楡垣徳行 三浦朗 道原
 (玉井)典子 森廣(坂本)一人
 (S54通卒)堀田勝義
 (S55卒)有坂(淀見)秀子 小
 田原由以 後河内薫 嶋田(川
 嶋)恵子 堂上(和田)みのり
 花田和孝 濱野上隆志 三輪
 (西村)京子 湯浅(桜段)恵子
 (S56卒)阿部(足助)由美子
 榎本暢之 大濱明美 酒井(佐
 藤)幾美 田中秀一 村松耕
 (S57卒)亀田(林)由美子 土
 肥博文 西村朋江 橋村浩司
 (S57通卒)岡俊雄 小椋秀雄
 戸川明
 (S58卒)岡明秀忠 塚田(大
 脇)伸二 和田啓治 渡部悦子
 (S59卒)小林秀吉 鈴木政晶
 原田(河内)奈穂美 福田康浩
 福田敏勝 福田(吉野)裕美子
 増原龍也 松本香二 松本(三
 佐尾)由貴 溝上(池田)麻樹
 (S60卒)野村雅之 丸元圭司
 宮原稔
 (S60通卒)世良ひとみ
 (S61卒)上田剛士 庄野経春
 野村(三樹)恵美
 (S61通卒)城下博子
 (S62卒)大神あゆみ
 (S62通卒)池田靖夫 永田サ
 エ子 山口春子
 (S63卒)升島寛彰
 (H1卒)池本敬亮 市野淳也
 井上(三上)希代 大神友明 瀬
 下雅仁 福田朋之 松田幸也
 (H2卒)後藤秀樹 瀬下智子
 西田寛 木崎(池田)並徳
 (H2通卒)上田保
 (H3卒)研岡剛 土井政明 永
 野雄一 播本貴
 (H4卒)石田博士 津田真由
 美
 (H5卒)田中浩生 土井秀訓
 (H7卒)長内克裕
 (H8卒)橘美恵子 松石恒明

〔H 10 卒〕出雲安見子／加藤寿実
 〔H 11 卒〕牛尾哲也／秦正憲
 〔H 12 卒〕古本政照・古本（西口）佳織
 〔H 13 卒〕高瀬豪介／堀健太郎
 〔H 14 卒〕田中謙
 〔H 15 卒〕神農徹
 〔H 16 卒〕中本有香
 〔H 17 卒〕平木万理奈
 〔H 18 卒〕小川陽介／山中久美
 〔H 19 卒〕小川景子／高本純希
 野村侑加
 〔H 20 卒〕下村彩加／藤田遼
 〔H 21 卒〕荒木裕子／榎本咲良
 小田貴之／亀田隆史／桑原佑輔
 〔竹西美寿恵／松坂彬／山中一平〕
 〔H 22 卒〕木下雅恵／下舞太粋
 横溝裕太
 〔H 23 卒〕天野宏明／池田憲明
 植田千尋／河脇悠人／栗栖健人
 葉原周郎
 〔S 23 定卒〕諏訪祐一
 〔H 24 卒〕牛尾由佳理／奥村芽衣／金子正弘／河脇健人／下野起将／竹内佳成／樋上和喜／樋口諒／森達哉／渡辺健太郎
 〔旧職員・法人・団体等〕石川幸子／石橋直哉／医療法人たかまさ会会長 山崎孝男〔S 24 ⑤卒〕〔有べ〕屋 石井良造〔S 24 ⑤卒〕〔双葉工業㈱代表取締役吉田信秀〔S 44 卒〕〕〔株石崎硝子店代表取締役石崎幸弘〔S 57 卒〕〕鯉城ステアコール／鯉城東京同窓会／関西鯉城同窓会

什器備品類寄付一覧

― ありがとうございまして。 ― 平成25年11月30日現在

〔M 35 卒〕南薫造 遺族 油絵
 〔山間早春〕
 〔S 4 卒〕田盛秀盛 遺族 大正14年卒業写真
 〔S 13 卒〕金谷整治 遺族 卒業証書、卒業アルバム他
 〔S 14 卒〕上西薫 明治45年3月卒業写真
 〔S 19 卒〕八嶋浩 昭和11年自治寮アルバム／須郷（田中）博 遺族 卒業証書他
 〔S 24 ⑤卒〕今田耕二 廣島一中新聞創刊号 5号、鯉城新聞創刊号 4号／下島準三 昭和23年水泳部バッチ他／広島一中有終会 鯉城高校校旗
 〔S 24 鯉卒〕見玉健次 著書「聞こえますか命の叫び」
 〔S 24 卒〕見玉光雄 著書「原野を生きるのびて」岡田悌次 書籍「ヒロシマ原爆地獄」
 〔S 25 卒〕田村鋭治 新聞記事「第1回全国野球大会優勝」他
 〔S 26 卒〕石川澄子 冊子「花美術館」
 〔S 29 年々〕北斗会 会資料一式
 〔S 30 卒〕増原驍 著書「信長年代記」
 〔S 31 卒〕秋山礼巳 遺族 彫刻制作図／飯田明毅 秋山礼巳 作品画集／湯木貞義 生徒手帳（戦後初版）
 〔S 33 卒〕城信彦 絵画他／八木忠士 船田玉樹画文集 独座の宴 他
 〔S 34 卒〕上神慶紀 新聞記事「アムステルダムオリリンピック陸上競技三段跳び織田幹夫優勝」中田正博 昭和57年定期総会資料・写真集他
 〔S 37 卒〕石下早苗 染織「敦煌月映」竹永克彦 日本画「紅潤」他／香川将家 廣島第一中学校一覽大正15年版
 〔S 37 定卒〕久保俊寛 定時制生徒会誌「窓灯No.5」
 〔S 41 卒〕豊島芳紀 卒業アルバム
 〔S 43 卒〕丸橋豊 昭和41年校内マラソン第一位表彰楯
 〔S 45 通卒〕矢野義雄 通信制生徒会制作校旗写真他
 〔S 46 卒〕山口修司 広島一中 国泰寺高百年史・昭和46年卒業アルバム
 〔S 47 通卒〕桑原佐智江 各種教科書等、昭和46年度中国地区高等学校通信制生徒会交換会実施要項 他
 〔S 51 卒〕中島緑 応援団帽子
 〔S 55 卒〕鯉城55会 掛時計5個
 〔国泰寺高等学校事務局〕昭和19年度広島一中五年生呉工廠 動員名簿他

平成24年度決算報告書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

I 一般会計

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	8,524,708	会報費	1,858,725
入会金	996,000	水道、光熱費	55,018
終身会費	3,484,000	事業費	215,454
年会会費	45,000	人物録作成費	52,325
寄付金	9,660	会費請求システム維持費	116,235
利息収入金	326,071	助成金（二木会）	900,000
50周年CD販売入金	10,000	事務費	1,191,840
雑収入	13,402	消耗品費	43,149
総会・二木会余剰金	600,000	印刷費	182,443
		通信費	211,264
		会議費	146,424
収入計	14,008,841	CD（校歌他）の複製	580,000
		修繕費	0
		税金	0
		慰霊碑献花代	39,375
		次年度繰越金	8,043,216
		支出計	14,008,841

II 基金

1. 鯉城同窓会基金 (単位：円)

前年度繰越金	75,000,000
次年度繰越金	75,000,000

2. 教育振興基金 (単位：円)

前年度繰越金	16,500,000
次年度繰越金	16,500,000

III 特別会計

同窓会館建設費特別会計 (24年度中間報告)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
鯉城同窓会基金の取崩金	75,000,000	建築費	78,065,000
寄付金	15,939,000	印刷費	271,511
利息	444	備品費	453,300
		通信費	57,610
		事務費	499,440
		会議費	60,000
		消耗品費	222,157
		雑費	230,045
		繰越金	11,080,381
収入計	90,939,444	支出計	90,939,444



8年卒の皆さんによる乾杯



会務報告をされている鯉城同窓会役員
の皆さん。いつも同窓会のためにご尽
力頂きありがとうございます



要の当番幹事で事務局長の
奥田敏夫氏。これからも更に
「加速」する事を約束した



在校生による気合いの入った演舞

さらに磨きを 意思の加速

今年度の鯉城同窓会総会にも、全国から多数の同窓生の皆様にお集まり頂き、誠にありがとうございました。当番幹事として御礼申し上げます。諸先輩方はじめとした鯉城同窓会に関わる皆様に助けていただきながらでございますが、同級生皆が力を合わせて頑張ってくれたおかげで今年度総会を無事終える事が出来ました。平成25年度の鯉城同窓会は、「意思の加速」をスローガンに活動していきます。先輩方から受け継いできた伝統の精神、そして私たち後輩が心に抱く思いと信念、その二つが合わさって育まれる「意思」を、ただ成長・進化させるだけでなく、一層の高みに向上させるため、「加速」の年にしたいという思いで活動させて頂いております。今年度の鯉城同窓会は「二本会」が9月に500回となり、また一つ歴史の節目を迎えております。

今年度の鯉城同窓会総会にも、全国から多数の同窓生の皆様にお集まり頂き、誠にありがとうございました。当番幹事として御礼申し上げます。諸先輩方はじめとした鯉城同窓会に関わる皆様に助けていただきながらでございますが、同級生皆が力を合わせて頑張ってくれたおかげで今年度総会を無事終える事が出来ました。平成25年度の鯉城同窓会は、「意思の加速」をスローガンに活動していきます。先輩方から受け継いできた伝統の精神、そして私たち後輩が心に抱く思いと信念、その二つが合わさって育まれる「意思」を、ただ成長・進化させるだけでなく、一層の高みに向上させるため、「加速」の年にしたいという思いで活動させて頂いております。今年度の鯉城同窓会は「二本会」が9月に500回となり、また一つ歴史の節目を迎えております。



3月27日に落成式をした同窓会館につ
いての報告をされた八木忠士会長ら



年を重ねても素敵な笑顔はヒートアップ
「どんどん美しさが加速」されていますね



れた皆さん。これからも更
さい



「いや～実に人生は面白い！」同窓生に会い、話はどんど
ん盛り上がる



一中・鯉城・国泰寺への思い、野球部
への情熱も熱き教誓憲雄さんら

国泰寺高校の現状報告と、更なる発展のための固い「意思」をお話された河田敦之校長



卒業後は同窓会一員となり、母校の発展に寄与したいと語る現役国泰寺高校の生徒たち



二木会500回記念をも成し遂げた当番幹事代表の窪川原康登氏。総会を成功させたいと「意思」表明



卒業から50年を迎えた昭和

新艇購入のための募金の呼びかけをするヨット部員



レスリング国体準優勝を遂げた森本健斗君の父も61年卒。オリンピックに向けて頑張るとエール



「サッカーは久々ベスト4に登りつめました」と60年卒の吉田安孝氏



伝統の力も 総会に誓う

このような年に当番幹事を務めさせて頂き、大変素晴らしい経験をさせて頂いております。また、鯉城同窓会のおかげで同級生と再会する事ができ、先輩方をはじめとした多くの方との出会い・ご縁を頂いております。このような経験やご縁は私たち当番幹事にとってこれからの人生の大きな財産となることと思うと同時に、感謝の気持ちでいっぱいでございます。先輩方から受け継いできた伝統と私たちの感謝の思いである「意思」を更に「加速」させ、後輩たちに引き継いでいきたいと思います。我々平成二年卒業生一同、これからも力を合わせ、鯉城同窓会の発展のため頑張ってまいりますので、よろしくお願ひ致します。

平成二年卒 代表幹事
窪川原 康登



「俺はね～これからもますます頑張っていきますよ～」
「俺だってまだまだこれからよ～」と話は弾む



栄えある頭影を受けられ表彰
に功績をアップさせていって

私の近況

GANBARISM

昭和16年卒 松井義武

昭和18年12月10日午前4時、八丁堀の我が家の前に、桑田清先生引率の一中生が整列、配属将校の伊藤大佐、豊島少尉も一緒に居られました。当時私は、長崎高商二年に在学中でしたが、徴兵検査に合格し、海軍を志願して、大竹海兵団へ入団することになりました。

一中へ報告には行きました。想像もしていません。感懐しながら、広島駅まで歩いたと当時の日記に残して居ます。

大竹海兵団で適正検査に合格し、三重航空隊に入隊、以後、第二美保(米子)、姫路、大和(奈良)航空隊に勤務し、20年3月1日大和空で、神風特別攻撃隊に編入され、本土決戦に備えて、特攻機20機をもって、四国松山基地に待機中に敗戦となり、今日まで生かされて存続となりました。見送って下さった桑田、伊藤、豊島先生は、ピカドンで亡くなられ、日の丸の旗を振って送ってくれた後輩の中に生

存者が居られるかどうか？

海軍の同期生は2208名、その中、戦死者167名(内特攻戦死者37名)であります。ちなみに、海軍の神風特別攻撃は、259回実施され、1987名が参加し、二階級特進となっています。

ながらえて何なし得しや法師嬢

(府中市上下町上下)

昭和24年鯉1卒 竹内泰彦

「世界にとどけ！笑顔をむすぶお菓子のちから」をテーマに、広島開催にふさわしい「国際性」や「平和」の観点にたったメッセージを発信する菓子博として、平成25年4月19日から5月12日まで24日間、第26回全国菓子大博覧会が旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館とその周辺で開催された。

実行委員長として関わってきた5年間で、10月11日の決算総会をもってようやく終わろうとしている。

そうはいっても、まだ残務整理は毎日行われており、後

は事務室の撤収、次期開催地

への引き継ぎ等を終えるまでがわれわれの仕事であり、解散は11月初旬になるだろう。

こうしたことを含めた近況報告といえば、7月16日には彬子女王殿下に御礼を申し上げるために参上している。続いて9月26日には大阪府菓子工業組合の褒賞伝達式に出席した。

10月9日には山形市で開催される東北・北海道ブロック会議に出席する予定である。

いずれにしても、行政や地元経済団体や企業などの全面的な支援を得て、広島全体が盛り上った菓子博が、80万7千人の入場者を記録し、150億円の経済波及効果を生み出したことは、主催者の一人として言い盡せない喜びを感じているところである。

(広島市南区向洋新町)

昭和28年卒 坂上ルミエ

「あつ忘れた!!」「何でこんなことをするのか?」を連発する日々です。認知症予防にカレーが良いと聞けば、すぐにカレー党になるので、健康オ

タクと笑われています。

休み休みですが、約40年間、趣味で東光展に油彩画を出品しています。「もう止める」と言いながら、止めていません。最近では、先のことは考えないことにしました。

とりあえず、来年は1000号の絵を描きたいとイーゼルに1000号のキャンパスを5月から架けています。来年の3月末がメ切日です。キャンパスは未だ真白。

「生き来しは滑り込みセーフ夏の逝く」という句を作ったことがあります。小学校の夏休みの宿題はいつも、ドタバタ。国泰寺高校入学も「明日が編入試験です。今、ここで入学願書を書きなさい」と合田先生に言われて書き、入学出来た経緯があります。

なだいなだの「とりあえず今日を生き、明日もまた今日を生きよう」という言葉が好きです。

私は、とりあえず1000号の絵を描き始めなくてはと頭で思い、行動の伴わぬ10月を過ごしています。

(廿日市市須賀)

昭和34年(定)卒 水除美樹雄

今の生活では趣味の占める部分が多いので、それに絞って書いてみたい。現役時代は忙しさに追われ、趣味も制限されていたので定年後はやりたいことに貪欲に挑戦しようとして決めた。

その一つに古典芸能の鑑賞があった。たまたま入会した会の顧問が伝統芸能を扱った雑誌「上方芸能」の代表者だった縁で、古典芸能への興味が一気に上がる。何はともあれ鑑賞することからと劇場通いを始める。能、狂言、文楽、歌舞伎と続き、大阪にも落語の定席劇場ができてから、落語を聴く機会も増えている。最初は雰囲気を楽しむだけだったが、今は内容を理解し楽しむまでになった。それと並行して「上方芸能」主催の行事にも関わるようになり、多くの人との交流が、また参加している会では幹事を務め、ここでも貴重な経験をさせてもらっている。

七十も半ばになって次々と新しい出会いがあることを幸せに思っている。毎日五キロ

(11頁へつづく)

の歩きを継続し、まだまだ前向きに健康で穏やかな日々を送っていききたい。

(大阪府貝塚市加治)

昭和35年卒 脇 節子

加齢にともない、シラガ・シワ・シミが次第に増えてきて、シゴトまで多く重なり、体力的に限界を感じるこの頃です。

お箏に魅せられ、国泰寺高から東京芸大へ進み、その後も生活の中で箏がほとんどを占めています。邦楽会のお仕事以外でも、広大・エリザベト音大・広島文化学園大・山陽女学園中高などで、多くの学生・生徒の皆さんと箏を楽しんできました。その中でも、最近母校の国泰寺から私を頼って進学をされた後輩があったことは、何より嬉しいことでした。

恩師の石川幸子先生には、イタリヤへお導きいただき、演奏までさせて頂きました。夢のような話で、感謝しております。

五人の子供も、それぞれ独立立ちし、孫もまもなく六人になります。今まで主婦役・母親役・祖母役をともに務めずに過ごしましたので、行く末は、あまり長くはありま

せんが、後れ馳せながら、今から家庭に入って少しずつ種々の役を果たして行こうと思っております。

(広島市中区白鳥九軒町)

昭和39年卒 正田健一

昨年の秋に黄綬褒章受章という栄誉を賜りましたことは、身にあまる光栄でした。

これは広島県自動車車体整備商工組合の理事及び理事長を28年間勤めたことの評価をして下さったものですが、この間には、先輩の方々に特に多くのご指導を賜ると共に、同輩、後輩の皆様からも、ご支援を頂いたお陰だと思っております。

それと同時に、昭和45年に25才で創業した株相生自動車を、今までの43年間の長きに亘り、ご愛顧下さいました多くのお客様を始めとし、仕入先の皆様、社員の皆さん、そして苦楽を共にして来た家内と、家族達を含めた、多くの皆様方の支えの数々を思い起こしながら、「感謝・感謝」の思いで一杯でした。この様な人と人のつながりを、今後も大事にしながら、少しでも何かお役に立てればと思っています。

話はかわりますが、我々39年度卒は、国泰寺高校に名前が替わってからは、15回生になることから、同期会を「鯉城一五会」と名付け、当初より会長を務め、五年に一回の開催を続けて来ています。

来年は卒業して50年の年になり、数え年で古希の年でもあり、同期会の「鯉城一五会」も前回は開催してませんので、10年ぶりになります。こうした三つの記念すべき年に当たりますので、来年は特に多くの同期生に集まってもらい、盛大な「祝いの会」を行いたいと思っております。

同期の仲間集まれ
(広島市南区丹那町)

昭和40年卒 占部汐子

京都へ来て40年近く、専業主婦をしてきました。自分の時間を持てる様になった時、近所にあった、北欧刺繍教室スコークラブに、通い始めました。月に一回だったのとなーベルセムというスウェーデンの刺繍に出会ったことで続けてます。家事の合間にしていたのが、いつの間にか、刺繍中心の生活になっていました。こんなに家に籠ってばかりで良いのだろうかと思っていた頃、鯉城関西同窓会が

できました。又、これがきつ

かけて、東京、広島、関西と順番で同期の会が開かれることになりました。それらに参加しているうちに、気分が軽く明るくなりました。再来年は卒業50年になり、どんな会が開かれるか、今から楽しみにしています。

刺繍の方も、今年から、教室で、白糸刺繍の講師をしています。出かけるのは、月に一回ですが、そのための教材作りには、時間を費やしています。今は来年秋にある作品展の指導と、私のオリジナル作品製作に、頭を痛めながら、目の前のことに頑張っています。

(京都府木津川市木津川台)

昭和43年卒 泓田 順

私は3年前に広島市役所を定年退職後、昨年から広島市植物公園にお世話になってる。一応園長なのだが、植物については素人同然であるから、唯一率先して取り組めるのは花殻摘みや草刈りである。日本一を誇るランやゼラニウムの収集数や栽培技術については優秀な職員に任せ、もっぱら園内作業に精を出しているのだが、これが実に楽しい。飯は美味いし時間が経つのが早い。私が答えられない専門的な質問をされて困る

事もあるが、「きれいですね」と声を掛けられたら心から嬉しい。

高校で山岳部に入部し、それから3年間毎週末は山ばかり。大学も山のある信州に決り、市役所でも山関係の職場を選び、現在植物公園で働いている。高校に入学したあの日、友人につられてたまたま入った山岳部が今の私の始まりとなつていたのである。あの時山岳部に入部しなければ私の人生は全然違うものになつていた事だろう。

多くの来園者が見込まれる週末の天気予報を気に掛け、山岳部時代と同じように一喜一憂しながら空を見上げる毎日なのである。

最後に国泰寺高校の益々の発展と在校生・卒業生の皆様のご健勝をお祈りします。

(広島市安芸区矢野西)

昭和51年卒 佐々川修二

10月に大阪、11月に神戸マラソンに参加、無事完走を果たしたところです。タイムはともかく、この長旅には何物にも代え難い充実感がありますね。そして仕事では得られない(?)達成感。きわめてゆっくりですが、記録短縮にしても、体型変化にしても、まだ

「進歩」を感じられるのですから、マラソンさまさまです。

「視る・書く・する」。スポーツに関わること30年近く。大阪の読売新聞で長く運動部記者を務め、現在は編集委員というのんきな部署で、やはりスポーツ中心に仕事をしています。

今につながるのはいはり高校時代の「原点」ですね。1975年10月、結成26年目で初のリーグ優勝を果たした広島カープ。高校3年の秋でした。ゴールに向かうチームに一喜一憂の日々。授業中にイヤホンさしてこっそりラジオの野球放送を聞いていた男子に「オイ、今どうなってるんや?」と先生が笑顔で問いかければ、職員室だったか、試合中継のテレビに映っていたのは、学校を抜け出して市民球場外野席で応援中の女子グループ。いい時代だったなあ。

「強じんな雑草、いま大輪の花」で知られる中国新聞の名物コラム「球心」の津田一男さんを母校(二中ですが)に招いての講演も思い出です。

結局あのときの「スポーツの感動」が忘れられなくて、こんな仕事をしているのかなと、遠い記憶にたえずんでいます。

(神戸市兵庫区)

昭和55年卒 根石敬子

(旧姓 広岡)

今から35年前の高校在学中に、同級生だった夫と交際が始まり24歳で結婚しました。お互いの弟も同窓という国泰寺一家です。

10年前に当番幹事をさせて頂き、沢山の同期との交流が再開しました。現在も旅行や仮装忘年会、様々な同好会など活発に活動しています。特にソフトバレーボール同好会には、経験者がほとんどいない中で始まり、珍プレー続出に大笑いしながら月に2回汗を流しています。大会にも毎年出場し、気分だけはすっかり高校生です。

当番幹事の前年に卒業以来初めての同期会が開催され約200名が参加、その後4年に一度の同期会で楽しい時間を過ごしています。来年はいよいよ第4回同期会の年です。全国から集まる沢山の同期の仲間と会えることを楽しみにしております。

総合選抜の中、第一希望の国泰寺高校に入学でき、多くの素晴らしい出会いがあり、50歳を超えても尚その縁が続いていることに感謝する今日この頃です。

(広島県安芸郡海田町)

昭和56年卒 広森明子

高校を卒業し、福祉系の大学を出て以来、福祉関係の職についています。大学を卒業した2年後、福祉の国家資格として「社会福祉士及び介護福祉士法」が公布されました。

福祉関係の仕事をしていくうえで資格の取得は必要と考え、最初に介護経験3年で介護福祉士の資格を取得し、記憶力と体力のあるうちにと決断し、2年の通信教育を受け、社会福祉士国家試験に挑戦し、合格率20%以下の中、35歳にして1回で取得できました。その後は社会福祉士として職を得、在宅介護を中心とした相談援助活動をしてきました。

現在は主に、高齢や障害で判断能力が衰えた方たちの権利擁護のためにできた「成年後見制度」に基づき、社会福祉士の専門性を生かすべく身寄りのない方や親族関係に問題のある方などの成年後見人として活動しています。そして、人としての生き方について学ばせていただいた毎日で。

(江田島市能美町中町)

昭和58年卒 石井彩子

「フレイ! フレイ! セ・ン・セ・いー! フレイ!」昨年度の

春、母校に音楽科の教員として赴任しました。約30年ぶりの母校です。初めて出会う生徒たち、先生方、時代の流れで学校も大きく変化していると感じ、毎日私なりに緊張を

していました。着任式での応援団からのこのまっすぐなエールで、高校時代の自分と現在の自分がその場にいるような不思議な感覚を覚え、そして迷いなく感じました。「これは国泰寺高校なのだ。母校に帰って来たのだ」と。

平凡な中にも、出会いの中で自分と向かい合う機会を与えられ、感性が揺さぶられることの多かった高校時代。いま、自分がその年頃の生徒と向かい合いながら、日々ともに一喜一憂しています。

母校勤務のおかげで、懐しい同窓生の方々と再会することが増えました。嬉しいです。あの頃の自分と今の自分。こは国泰寺。しばらく母校の内側から、微力ながら力を尽くしたいと思います。

(広島市安佐南区大町)

昭和59年卒 海部智子

(旧姓 山根)

いくら同窓生とはいえ、ほとんどの方とお目にかかったことのないごく平凡な私は、

皆さんに興味を抱いて頂けるようなネタをあいにく持ちあわせていないのですが、現職で関わっているペット業界の現状を交えて近況をお伝えさせて頂きましようか。

今や愛犬や愛猫にかける費用は、人間の子供と同じくらい、それ以上とも言われています。ごく一部ではありますが、ペットが私達が口にするお肉よりもはるかにグラム単価の高いペットフードを食べ、高価な洋服やアクセサリーを身にまとい、ペビーカーならぬペットカートに乗せられてお散歩に行く時代。ペットが裸で散歩し、家庭の残りご飯を食べることに少しづつ違和感を感じる世の中になりつつあることにペット業界で働く者でありながらも、そういう時代に育った私は、素直に驚きをかくせないうです。その驚きが刺激となり、この度入社以来従事してきた総務や人事の仕事から180度転換した商品開発という仕事に携わることになりました。見る物、聞く物に常に新鮮な驚きを感じ、二人の子供達(一人は現役高校生)からは、永遠の女子高生とからかわれる日々。特に専門的な職業についたことはないの

ですが、これまでの様々な職歴と人とのつながりを生かし、ペットと共に暮らす皆さんが必要とするワクワクするような商品をつくさん世の中に出せることを夢見て48歳年女は、様々な分野で活躍する同期の皆さんの元気で頑張っている姿を励みに新たななる挑戦に向けて今、一步を踏み出します。

(広島市東区中山中町)

昭和60年卒 佐藤ちひろ

(旧姓宮野)

十一歳。小学五年の文集に書いた私の夢は「お母さん」その夢を抱いたまま、運命の国泰寺高校に入学。十六歳。クラスメートに恋をした。十七歳。まさかの両思いで交際スタート。七年間の遠距離恋愛は同級生に支えられた。二十五歳。お陰様でゴールイン。夢をあきらめかけた結婚六年目に待望の妊娠。三十一歳。私はついに念願の「お母さん」になった。

あれから十五年。人生は、山あり谷あり、谷あり。でも、どんな時でもくじけずに、頑

張ることができるのは、私は、夢を叶えた「お母さん」だから。宝物の子ども達と、支えてくれる夫が居るから。

中学三年になった息子の志望校は国泰寺高校。親子二代のHFを目指すらしい。小学六年の娘も夢に向かって猛勉強中。頑張って！子ども達。母さんはいっただって応援団長よ。母さんも、沢山応援してもらって、今がある。強くて優しい母親に育てられたから、強くて優しい母になれる。四十六歳。近所に住む大好きな両親。単身赴任中だけど、仲のいい四大家族の我が家。忙しいけれど幸せな「お母さん」の毎日に心から感謝。

(広島市南区東雲)

昭和61年卒 加登義浩

私は母子二代で国泰寺です。サッカーの名門で憧れの高校に合格した時の事は今でも鮮明に覚えています。

卒業後は東京、四国、関西と転居をしましたが、今は転勤の無い会社に勤務しておりこれからはずっと神戸に住む予定です。10数年前は関西に

だけは住む事が無いだろうと思っていたのに不思議なものです。数年前から鯉城関西同窓会に入り、年数回のイベントには楽しく参加させて頂いています。本当に素晴らしい方々ばかりで、いつも優しく接して頂いています。代々の会長や幹事の天津さんにもとても感謝しています。

現在の鯉城関西の会長の伊藤彰雄さんはサッカー部の先輩で、伊藤さんを中心にしてこの前関西鯉城蹴球団を立ち上げました。メンバーをもう少し増やして名門神戸高校のOBと試合をしたいと思っています。

公私ともに人間関係に恵まれ、家族も無病息災。有難い事です。後はゴルフが上達しさえすれば・・・と呑気な事を考えている今日この頃です。

(兵庫県神戸市灘区)

昭和62年卒 清谷 務

10年前に二世帯住宅を建て、両親、高校時の同級生だった妻、息子と娘の6人で広島に住んでいます。新・中古車販売をメインに、配送業

やクリクラの代理店をしています。

高校時代はサッカー部に所属していました。卒業後は2年間のサッカー留学を経て、念願の日本サッカーリーグでプレーすることができました。その後、車関係の仕事をしたがら国体出場や中国サッカーリーグでプレーしました。

現役引退後は自社でサッカーチームを作りたいという夢を持っていましたが、3年前に現実のものとなりました。自社が母体となり、スポンサー様のご協力の下、活動しています。また広島出身者で県外の大学に行った有望な選手が卒業後、広島に就職先やサッカーチームの受け入れ先がなく帰れないのが現状です。そこで今年から自社で6名の選手を雇用しました。来年もできる限り雇用し、さらなる飛躍をしていきたいと思っています。

(広島市東区牛田新町)

平成元年卒 山下博子

(旧姓小川)

私は現在、北海道で暮らし

ています。引越しの時、父が「海外へ行ってしまおう様だ」と言った言葉は今でも忘れられません。「飛行機でたった二時間だよ」と軽く笑った私。あれから十六年が経ちました。

昨年の暮れに父の危篤の報せを受けて、一便しかない飛行機の出発を待つ時間がとても辛く長く感じられました。同時にその時初めて、父のあの時の思いを感じ取ることができました。到着して、父にすがった時、既に鼓動は無かったのですが、驚く程の安心感に包まれた不思議な体験をしました。親子の繋がりに心から感謝と感動をしました。

助産師として働き続ける今、命の誕生の際もいつも同じ感動を貰います。高校三年生の卒業文集で「心の広い看護婦になりたい」と書きましたが生死を身近で体験する事で、手の目(たなごころ)で丁寧に優しく触れる)で看る事の大切さを日々させて頂いている今日この頃です。

(札幌市清田区平岡)

私の近況

GANBARISM



まだまだ意気盛んな1期生7人

盛り上がった 1期生の7人東京

国泰寺高校1期生、東京近辺在住者の同窓会が13年10月27日開かれました。7人参加、在住者が12人しかいないので、大変高い出席率と思います。

ちようど台風27号の襲来にばっちり会うということ心配したのですが、幸運にも台風は前の日に通過、久しぶりの好天気。話は弾み、4時間しゃべりっぱなしでした。この歳になると病気の話が出がちですが、この会、7人のうち医者が二人、タダでアドバースが聞けるありがたい会です。皆さん元氣、現役で新商

品に取り組むという方あり、東京オリンピックまで頑張ると宣言した人あり。となると、88歳米寿同窓会、それもいいかも！

1期生同窓会の「本体」は、12年4月の27回同窓会で終了しています。全員が80歳を超えたこともあり、これを最終にするということで、東京、大阪等遠方からの出席者もあり25人参加。全員一言ずつしゃべって、名残を惜しみつつ、会を閉じました。

不思議な同期会だと思えます。昭和24年、市内の県立、

市立六校の地域在住者の混成で、初の男女共学、地域制の学校。新しい高校の最上級生となった私たちは、今まで別の学校の生徒だったというわだかまりを捨て、新しい学校づくりに懸命になりました。

しかし、授業のあったのは正月10カ月、クラスが違うと、顔も名前も覚えきれないという状態で卒業したのです。だから、卒業直後は、同期会など誰も考えつきもしなかったのですが、昭和も終わりに近づいた一九八七年に同窓会が始まると、驚くほど多くの人

同期会だより

7 北陸地方へ 北陸地方へ 7 回目の旅

昭35年卒



国宝彦根城をバックに「といち会」のメンバー

還暦を機に始めた昭和35年卒の同期会（といち会）旅行も7回目を迎えた。12年前に松江へバス旅行で約50人が集まったのが最初だったが、今回は北陸地方へ足を延ばし、永平寺、国宝彦根城を訪ねた。広島を貸切バスで出発、途中、新大阪駅で関東・関西組と合流、総勢27名が一路、宿泊地の芦原温泉へと向かった。いつも40〜50名の参加だが、昨年が続いての開催で若干少なめになった。バスが発券するや否や懐旧談に花が咲き、ア

が参加。以来毎年盛会裏に行われました。草創期を支えた仲間意識、懐かしさからでしょうか。

東京の同期会はこの会に連動して始め5回目です。なかなか広島までいけないというので、「本体」はなくなっても東京は在住者が少ないので事務的に楽なので、これからも続けることになりました。浜松から新幹線で来る方もありますよ。88歳までできるかどうかは？ですが。

(関 千枝子)

翌早朝参拝した永平寺は、寒さも手伝い凛とした空気に包まれる。観光寺院化してしまっているが、それでも厳しい禅の世界の一端を垣間見ることができた。続いて訪れた彦根城は、琵琶湖を望む小高い丘に五層の櫓が美しい。さすが歴史の舞台になった城下町、都会とは一味違った雰囲気を楽しむことができた。帰途のバスでは、早くも次回の旅先の話でもちきり。2年後に「琵琶湖周遊の旅」に衆議一決、元氣で再会！を約して同期会の旅は終わった。

(伊藤 暉)

鯉城関西同窓会総会

3月9日(日)

開催 11:00

ホテル大阪ペイタワー

中 平成26年度

総会

日時 11月15日(土) 17:00

場所 リーガロイヤルホテル広島

当番幹事 平成3年卒業生

鯉城東京同窓会総会

5月14日(水)

開催 18:30

(財)水交会 東郷記念館



鯉城高校物理班のメンバー。右から矢野(2年)渡辺(2年)浅井(2年)石光(中学3年)水戸(3年)谷本(3年)高野(中学3年)鳴海(中学3年)寺田(2年)木田(中学3年)

君知るや「科学連盟」

鯉城時代 各校団結

昭和23年、学制改革で5年から鯉城高校3年に進んだが、その頃生徒活動は非常に活発だった。その一つが科学連盟の発足である。記録があまりなく、知らない人が多いと思うので当事者の一人として当時を振り返り、記録に残しておきたいと思う。

新制高校が誕生してしばらくして、広島市内の新制高校及び新制中学が参加して広
鯉城高校物理班のメンバー。右から矢野(2年)渡辺(2年)浅井(2年)石光(中学3年)水戸(3年)谷本(3年)高野(中学3年)鳴海(中学3年)寺田(2年)木田(中学3年)

島市高等学校・中学校科学連盟が発足した。設立から運営全てを生徒の手で行う自主組織で、会長に広島文理大学
長田新先生を推戴し、理事長に鯉城高校三年生不肖谷本が、副理事長ほか役員を各校が分担、事務局長は鯉城
高校一年生山田実君とし男女600人の会員を集めて盛大な
発会式を行った。発会式は有朋高校(旧県女)の講堂を
借りて行った。連盟の母体となったのは各校の自主活動グル
ープ「科学班」で、学校単位の活動では限界があるので大
同団結しようというのが設

立の趣旨であった。物理部、化学部、生物部、天文部の四部構成で運営費は会費でまかなうというものである。
設立のアイデアは我が鯉城高校で生まれ、各校を説いて回った。当時鯉城高校には活気が漲っていた。それは数田校長の教育方針から生まれたものと思う。一例として少しさかのぼるが、中学4、5年の頃だったと思う。科学班の活動部屋が欲しかったので、校長室に隣接する廊下を仕切って使わせて欲しいと申し出たところ、自分たちで研究することは良いことだ大いにやり給えと快く許可して頂いた。放課後メンバーがここに集まって真空管の勉強やラジ

(昭和23年卒 谷本英雄)

平成17年秋ごろから関西の地に本校同窓会設立をと本格的に活動し始め、本部発行の会報誌「第58号」に、関西に設立の動き、記事を掲載して頂いたのが大きな推進力となった。H18年3月、「鯉城関西」が11名の有志の下、発足した。

その後、新会員勧誘と組間や会則の検討を重ね、H19年3月、会員数160名下で正式に設立した。それから7年、若い世代の加入増で現在会員

数230名を数え、組織も若返り活動量も増してきた。今年度は役員25名、学年委員50名で活動しており、年間の諸行事は◇3月「総会/イベン

「応援する会」20名 などである。先輩と後輩、互いに尊敬の念を持ち、関西独特のカラーで皆さまの和やかな親睦会の花盛りと言った処です。

為に今年、伊藤新会長は「プ
ラス50増強作戦」の提案を掲
げました。現組織力のステッ
プアップの実現にもう一頑張
りして行きたいと思えます。

来たれ！鯉城の友

関西同窓会が 会員増強作戦

今春から「二木会」開催に際して本部並びに各学年幹事の皆様から千数百名の関西在住者に「鯉城関西誕生とPR」を広報して頂けるようお願いし、この会報紙面の読者、

お問い合わせは
鯉城関西同窓会/大阪府八尾市北亀井町3-2-24(事務局)
〒581-0006
072-992-0812
Eメール
tohtsu@bh.wakwak.com

幹事長 大津 巧(旧姓宗藤)
昭和39年定卒

オの回路設計のことで大いに議論をたたかわせたものだ。だんだんと他の班のものも出入りするようになり賑やかになっていた。

障子戸一枚を隔てた校長室では職員会議や時には校長会が行われていて、さぞ騒々しかったと思うが一言も苦情を言われたことがなかった。ここを拠点に連盟作りの準備を行うことが出来た。そして連盟の活動が緒に付いた頃、卒業を控えた二年生に理事長をパト

ンタツチした。思えばあの荒廃の中でやりたいことを思う存分やらせてくれた鯉城高校の風土は素晴らしかった。我が高校生活に悔いなしである。

多彩な人脈と校風紹介

エコノミスト
3月26日号

ビジネス誌「週刊エコノミスト」(毎日新聞社) 3月26日号で、国泰寺高校についての特集記事が掲載された。連載シリーズ「名門高校の校風と人脈」の37回目。広島一時代からの歴史と、多士済済

な人脈を紹介している。記事は「広島県内でもっとも古い歴史を誇る公立高校である」と書き出し、「質実剛健」をはじめとする校風、原爆による壊滅的な被害を受けた後の復興ぶりを指摘。国公立大

への現役合格率が70%にのぼる現状などにも触れている。人脈関係では、広島一中時代の代表として、オリンピックで日本人初の金メダリストになった陸上三段跳びの織田幹雄(敬称略、以下同じ)、

新制になってからは文化勲章受章のファッションデザイナー三宅一生を、「卒業生でもっとも著名」な人物として挙げ、それぞれの主な業績をたどった。

このほか、創業経営者関係では、ダイソーの矢野博丈、カルビーの松尾孝、エディオングループの久保道正ら。大企業の経営者では、東映社長

編集後記

30年ぶりに曹洞宗大本山永平寺を訪れた。団体バスやマイカーが列をなし、開祖道元の教えとは全く違う世界を呈しているが、修行している雲水の姿に道元の精神が脈々と生きていた。真冬には、積雪31、零下5度にまでなる厳しい山中、一汁一菜、朝4時起きの日々を送る彼らのなんと清々しくて「いい顔」のことが。流行のファッションを追い化粧までするという現代の若者とは、対極をなすものだろう。永平寺には、常時、200余人の雲水が修行を積んでいるそうだが、必ずしもお寺の後継ぎばかりではないよう

新事務局長に久保木さん(54)



昭和42年卒
久保木敬子

4月から新築となった同窓会館で諸事務を行っていただきます。八木会長を始め、役員の方々の温かい励ましや同僚の福田さん、

高野さんを始め、各委員会の皆さまの優しいお心遣いを頂き、何とか役員会、幹事会、そして最大の総会を無事終えることができました。前任の土井副会長のようにパワフルな動きは出来ませんが、これからも当番幹事等のお力をお借りし、同窓生の皆さまにご迷惑をお掛けしないよう、また、学校やPTAとの連携を念頭に、頑張つて参る所存ですので、今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

叙勲・特別賞を総会で顕彰

平成25年度、各種の賞を受章された同窓生の方々の11月9日の総会で顕彰した。

〔叙勲・褒章関係〕

▽瑞宝双光章(地方自治功労) 昭和36年定卒 故・河村仁

(平成24年度叙勲受章者)

▽瑞宝小綬章(検察官功労)

昭和36年卒 岡島正行

▽瑞宝单光章(警察官功労)

昭和37年卒 郷野生喜

▽紺綬褒章(公益への私財寄

〔特別表彰受賞者〕

▽功績(スポーツ活動)

昭和18年卒 天野孝三

▽功績(文化活動)

昭和24年 ⑤卒 原田康夫

第76代広島市議会議長に確井氏

昭和35年卒



昭和35年卒
確井法明氏

昭和35年卒の確井法明氏が、6月に行われた広島市議会議長選で第76代議長に就任した。確井氏は昭和58年の広島市議選に地元から推されて東区か

付等)

昭和37年卒 久保俊寛

昭和18年卒 天野孝三

昭和24年 ⑤卒 原田康夫

ら初当選。現在、連続8期目を務めている。市議会の最大党派、自民党保守クラブに所属し早くから議長の声はあつたが、議員活動30年の節目に満を持しての登場である。菌に衣を着せぬ発言と奔放さが持ち味だが、大勢にくみしない芯の強さと地域への温かい思いは定評のあるところである。7月には同期生がささやかなお祝いの会を、9月には岸田外務大臣をはじめとする政財界から約1500人が出席して盛大な議長就任祝賀会が催された。「市民益のために働く」が確井氏の信条だが、これからも議員活動の総仕上げとして、その手腕が大いに期待されている。

杯。余人の雲水が修行を積んでいるそうだが、必ずしもお寺の後継ぎばかりではないようで、市井の若者が禅の世界に飛び込み、ただただ「只管打坐」の世界で、山中に何年も籠もるといふ。酒と飽食に明け暮れてきた我が身を思うと：反省？しながら、今夜も一杯。(伊藤)